

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 北見睦会	代表者	理事長 山下 孔子	法人・ 事業所 の特徴	法人自体には、北見市内で数多くの高齢者福祉事業を行っている。小規模多機能事業所むつみはグループホームが併設されていて利用者様、スタッフの交流が行われている。法人の共通理念「ゆっくり 少しずつ、自分らしく ありのまま」をかかげ、利用者様を尊重し思いや願いをかなえることができる介護に取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能事業所 むつみ	管理者	上野 泰美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	1人	4人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ自身も現在行っている介護に自信を持ち、経験不足、技術不足等で不安に感じているスタッフともカンファレンス等ですり合わせをしていく。	利用者様を知る努力をし、カンファレンス等で話し合いをして少しずつその姿勢が出来てきている。	・大切なのはこの書式ではなくサービスにきちんと取り組んでいるかで、絵に描いた餅にならないように考えていければよいのではないのでしょうか？	今後も振り返りの機会を生かして、達成可能な目標設定をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	なし		・入りやすさ、居心地の良さはスタッフさんちであると思います。嫌な顔することなく受け入れて下さっている。	ご家族としっかりコミュニケーションをはかり親しみをもってなんでもお話していただこうようにしていく。(事業所評価の目標とも重なるが、ご家族も入りやすい雰囲気作り+ご本人様を知っていく機会としていきたい)
C. 事業所と地域のかかわり	なし		・このような役員をしているので事業所があるのは知ってますが、他の方はどうなのでしょう？ ・地域の行事、イベントには参加してますよね。	焼肉会など、地域の方とのつながりは早めに周知して事業所をもっと知っていただけるようにすすめていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご本人様の暮らしをより深く、理解し他町内会でもご本人様のニーズがあれば実現できるようにしていきたい。	利用者様の暮らしをより深く理解する努力はしたが、利用者様が住んでいる地域まで出向いてということはしていないし、難しい。	・いろいろなところに出かけています。 ・いち利用者様のことでその地域での地域の方を交えた会議というのは難しいのでは？	なし
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の中でお困りな方がいれば運営推進会議等、皆で支えていくことができるよう事業所としてもできることを考えていきたい	相談の方が、来所、電話で対応している。	運営推進会議の中で、地域の心配な方の事例検討までは難しいのではないのでしょうか？	今後も、地域で心配な方がいれば、相談にのり事業所としてできることを考えていきたい。

F. 事業所の 防災・災害対策	・事業所の防災計画を運営推進会議でしめしていく。	この年の次の運営推進会議でしめていはいはいるが、利用者様も変わっているので、今後もお伝えしていく必要がある。	・地域の防災訓練は案内します。可能であれば、代表しての参加など・・・ ・自然災害については、火災とは違いスタッフも被災者となってしまう。避難場所等検討中。	防災計画は年1回、利用者様、ご家族、地域にしめしていく。
--------------------	--------------------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

